

公益社団法人日本障害者歯科学会 2025 年度会員総会式次第

2025 年 11 月 1 日（土）9：00～9：45
於 大阪国際会議場 5F 大ホール（A 会場）

I. 開会の辞

II. 議長選出

III. 報告事項

1. 理事長報告 (P. 1～2)
2. 2024 年度公益社団法人日本障害者歯科学会事業報告 (P. 3)
3. 2024 年度公益社団法人日本障害者歯科学会歳入・歳出決算報告 (P. 4～5)
4. 2026 年度公益社団法人日本障害者歯科学会事業計画報告 (P. 6)
5. 2026 年度公益社団法人日本障害者歯科学会予算報告 (P. 7)
6. 公益社団法人日本障害者歯科学会定款改正報告 (P. 8)
7. 次期役員報告 (P. 9)
8. 第 41 回日本障害者歯科学会総会および学術大会報告 (P.10～13)
9. 第 43 回日本障害者歯科学会総会および学術大会準備状況報告 (P.14)
10. 第 44 回日本障害者歯科学会総会および学術大会準備状況報告 (P.14)
11. 2028 年度（第 45 回）学会総会および学術大会開催地報告 (P.14)
12. 専門医制度規則第 10 条および第 15 条に基づく専門医動静報告 (P.15)
13. 認定医制度規則第 6 条および第 10 条に基づく認定医動静報告 (P.15)
14. 認定歯科衛生士審査制度に関わる動静報告 (P. 15)
15. その他

IV. 山口敏雄先生若手研究助成金贈呈

V. 日本障害者歯科学会優秀論文賞贈呈

VI. 日本障害者歯科学会 iADH 研究奨励賞贈呈

VII. 感謝状贈呈

VIII. 次期大会長挨拶

IX. 閉会の辞

Ⅲ. 報告事項

1. 理事長報告

【会員動態】

(1) 令和6(2024)年度会員数(令和6年12月31日現在)

会員数

正会員：4,076名	} 正+準
準会員：1,123名	
名誉会員：24名	
賛助会員：7社	
寄贈：40件	

入退会者数(令和6年1月1日～12月31日)

新入会：358名(正会員：249名/準会員：109名)
 退会：288名(正会員：188名/準会員：99名/名誉会員：1名)
 内、未納退会84名(正会員：51名/準会員：33名)

(2) 令和7(2025)年度会員数(令和7年9月30日現在)

会員数

正会員：4,104名	} 正+準
準会員：1,170名	
名誉会員：24名	
賛助会員：7社	
寄贈：40件	

入退会者数(令和7年1月1日～9月30日)

新入会：303名(正会員：193名/準会員：110名)
 退会：228名(正会員：165名/準会員：63名)
 内、未納退会74名(正会員：57名/準会員：17名)

【令和7(2025)年度会議の開催】

- (1) 理事会
 第1回：1月31日：AP東京八重洲(Web併催)
 第2回：2月15日：AP東京八重洲
 第3回：4月12日：Web開催
 第4回：7月5日：AP秋葉原
 第5回：9月6日：Web開催
 第6回：10月31日：大阪国際会議場
- (2) 監査会
 令和6年度監査会：1月31日：AP東京八重洲
- (3) 社員総会
 第1回：2月15日：AP東京八重洲
 第2回：10月31日：大阪国際会議場
- (4) 各種委員会
 第1回国際渉外委員会：10月31日：大阪国際会議場(アジア障害者歯科学会)
 第1回編集委員会：3月16日：東京
 第2回編集委員会：7月21日：仙台
 第3回編集委員会：11月24日：東京
 第1回専門医委員会：2月9日：Web開催
 第2回専門医委員会：3月11日：Web開催
 第3回専門医委員会：5月27日：Web開催
 第4回専門医委員会：8月12日：Web開催

第5回専門医委員会：9月21日：東京
 2025年度専門医指導医・専門医試験：10月19日：東京歯科大学
 第1回認定医委員会：2月5日：Web開催
 第2回認定医委員会：6月21日：東京
 2025年度認定医試験：10月19日：東京
 2025年度認定医筆記試験問題作成小委員会：8月9日：東京歯科大学
 第1回認定歯科衛生士審査委員会：1月27日：Web開催
 第2回認定歯科衛生士審査委員会：6月30日：Web開催
 2025年度認定歯科衛生士筆記試験問題作成小委員会：9月3日：Web開催
 2025年度指導・認定歯科衛生士試験：10月19日：東京歯科大学
 第1回規約委員会：6月8日～6月12日：メール開催
 第1回倫理委員会：5月30日～6月7日：メール開催
 第2回倫理委員会：6月18日：Web開催
 第1回地域医療委員会：1月20日：Web開催
 第2回地域医療委員会：10月31日：大阪国際会議場
 第1回用語委員会：3月14日：Web開催
 第2回用語委員会：4月21日～30日：メール開催
 第1回災害対策委員会：8月3日～8月6日：メール開催
 第2回災害対策委員会：10月31日：大阪国際会議場
 第1回医療福祉連携委員会：2月4日：Web開催
 第2回医療福祉連携委員会：5月13日：Web開催
 第3回医療福祉連携委員会：5月26日：Web開催
 第4回医療福祉連携委員会：10月8日：Web開催
 第5回医療福祉連携委員会：11月1日：大阪国際会議場
 第1回歯科衛生士連携委員会：3月10日：Web開催
 第2回歯科衛生士連携委員会：6月17日：Web開催
 第3回歯科衛生士連携委員会：10月20日：Web開催
 第4回歯科衛生士連携委員会：11月1日：大阪国際会議場
 第1回教育検討委員会歯科衛生士養成部会：5月15日：Web開催
 第2回教育検討委員会歯科衛生士養成部会：10月31日：大阪国際会議場
 第1回診療ガイドライン作成委員会（WS）：7月5-6日：東京
 第2回診療ガイドライン作成委員会（WS）：10月30-31日：大阪
 第1回障害者高齢化対策委員会：6月4日：Web開催
 第2回障害者高齢化対策委員会：9月26日：Web開催
 第3回障害者高齢化対策委員会：11月2日：大阪国際会議場
 第1回医療技術推進検討委員会：2月3日：Web開催
 第2回医療技術推進検討委員会：3月23日：東京
 第3回医療技術推進検討委員会：4月24日：Web開催
 第4回医療技術推進検討委員会：8月3日：東京
 第5回医療技術推進検討委員会：10月18日：東京
 第6回医療技術推進検討委員会：10月31日：大阪国際会議場
 選挙管理委員会（理事選挙開票）：6月20日：AP東京八重洲

【役員】 (監事以外 令和6年度定時社員総会終了のとき～令和8年度定時社員総会のときまで)
 (監事 令和6年度定時社員総会終了のとき～令和10年度定時社員総会のときまで)
 理事 25名
 代議員 192名
 監事 2名
 (幹事 1名)

2. 2024 年度公益社団法人日本障害者歯科学会事業報告

令和 6 (2024) 年度事業報告

1. 令和 6 年度会議

理事会	6 回 (関係理事による打合会を含む)
社員総会	2 回
会員総会	1 回

2. 第 41 回公益社団法人日本障害者歯科学会総会・学術大会の開催

日 時：2024 年 12 月 13 日 (金) ～15 日 (日)
 (12 月 13 日は理事会・社員総会・認定医研修会)
 大会長：米須 敦子 (沖縄県歯科医師会会長)
 場 所：沖縄コンベンションセンター
 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4 丁目 3-1

3. 日本障害者歯科学会雑誌「障害者歯科」の発刊

第 45 巻第 1 号～3 号の発刊

4. 委員会活動

国際渉外委員会、編集委員会、学術委員会、研究活動委員会、専門医委員会、認定医委員会
 規約委員会、倫理委員会、倫理審査委員会、利益相反委員会、広報委員会、医療保険委員会
 地域医療委員会、認定歯科衛生士審査委員会、用語委員会、災害対策委員会、
 医療福祉連携委員会、医療安全委員会、歯科衛生士連携委員会、教育検討委員会、研修委員会
 診療ガイドライン作成委員会、公益活動・IT 委員会、障害者高齢化対策委員会、
 将来あり方委員会、医療技術推進検討委員会、選挙管理委員会、優秀発表賞選考委員会
 (このほか必要があれば定款第 39 条に基づき委員会を設立する)

5. 専門医制度事業 (専門医基本研修会、専門医試験)

6. 認定医制度事業 (認定医研修会、認定医試験)

7. 認定歯科衛生士制度事業 (指導・認定歯科衛生士試験)

8. 障害者歯科の地域活性化助成事業

9. 障害者歯科に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発活動

10. 次期代議員 (令和 8 年定時社員総会～令和 10 年定時社員総会) の選出準備

11. 次期理事 (令和 8 年定時社員総会～令和 10 年定時社員総会) の選出準備

12. 次期理事長 (令和 8 年定時社員総会～令和 10 年定時社員総会) の選出準備

13. 日本障害者歯科学会宿題委託研究の公募および委託

14. iADH 活動への協力

15. AADOH 活動への協力

16. 各種研修会事業 (摂食嚥下、救急蘇生、倫理等)

17. 各種表彰事業 (優秀論文、優秀発表、若手学術奨励、iADH 研究奨励、山口敏雄先生若手研究助成等)

18. 診療ガイドライン等の作成、改訂

19. 障害者歯科用語集の改訂

20. 学会事業 IT 化の検討 (認定事業等)

21. 公益事業の実施 (市民公開講座、広報、関係機関との協力等)

22. その他

監査報告書

公益社団法人日本障害者歯科学会

理事長 野本 たかと 殿

公益社団法人日本障害者歯科学会の令和 6 (2024) 年度決算、会務ならびに会計の現況について監査を行った結果、正確かつ適正に執行されていることを認めます。

令和 7 年 1 月 31 日

公益社団法人日本障害者歯科学会

監事 白川 哲夫 

監事 島村 和宏 

< 寄附金のご報告 >

2023 年 11 月 24 日にご逝去されました本学会名誉会員 上原 進先生のご遺族様より、2024 年 12 月に多額のご寄附をいただきました。上原先生の生前のご意思を引継ぎ、障害者歯科の発展のため活用させていただきます。

4. 2026 年度公益社団法人日本障害者歯科学会事業計画報告

令和 8 (2026) 年度事業計画

1. 令和 8 年度会議

理事会	6 回 (関係理事による打合会を含む)
社員総会	2 回
会員総会	1 回

2. 第 43 回公益社団法人日本障害者歯科学会総会・学術大会の開催

日 時：2026 年 12 月 11 日 (金) ～13 日 (日)

(12 月 11 日は理事会・社員総会・認定医研修会)

大会長：大橋 誠 (北信越障害者歯科臨床研究会/日本歯科大学新潟生命歯学部歯科麻酔学講座)

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号

3. 日本障害者歯科学会雑誌「障害者歯科」の発刊

第 47 巻第 1 号～3 号の発刊

4. 委員会活動

国際渉外委員会、編集委員会、学術委員会、研究活動委員会、専門医委員会、認定医委員会、規約委員会、倫理委員会、倫理審査委員会、利益相反委員会、広報委員会、医療保険委員会、地域医療委員会、認定歯科衛生士審査委員会、用語委員会、災害対策委員会、医療福祉連携委員会、医療安全委員会、歯科衛生士連携委員会、教育検討委員会、研修委員会、診療ガイドライン作成委員会、公益活動・IT 委員会、障害者高齢化対策委員会、将来あり方委員会、医療技術推進検討委員会、上原基金運用検討委員会、障害者歯科活性化委員会、口から診える症候群作成検討委員会、選挙管理委員会、優秀発表賞選考委員会
(このほか必要があれば定款第 39 条に基づき委員会を設立する)

5. 専門医制度事業 (専門医基本研修会、専門医指導医・専門医試験)

6. 認定医制度事業 (認定医研修会、認定医指導医・認定医試験)

7. 認定歯科衛生士制度事業 (指導歯科衛生士・認定歯科衛生士試験)

8. 障害者歯科の地域活性化助成事業

9. 障害者歯科に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発活動

10. 次期代議員 (令和 10 年定時社員総会～令和 12 年定時社員総会) の選出準備

11. 次期理事 (令和 10 年定時社員総会～令和 12 年定時社員総会) の選出準備

12. 次期理事長 (令和 10 年定時社員総会～令和 12 年定時社員総会) の選出準備

13. 次期監事 (令和 10 年定時社員総会～令和 14 年定時社員総会) の選出準備

14. 日本障害者歯科学会宿題委託研究の公募および委託

15. iADH, AADOH 活動への協力

16. 各種研修会事業 (摂食嚥下、救急蘇生、倫理等)

17. 各種表彰事業 (優秀論文、優秀発表、iADH 研究奨励賞、若手学術奨励賞、山口敏雄先生若手研究助成等)

18. 診療ガイドライン等の作成、改訂

19. 障害者歯科用語集の改訂

20. 学会事業 IT 化の検討 (認定事業等)

21. 公益事業の実施 (市民公開講座、広報、関係機関との協力等)

22. その他

6. 公益社団法人日本障害者歯科学会定款改正報告

令和 7 年公益法人制度改正により、外部理事・外部監事の選任が公益認定の基準になり、2025 年 10 月 30 日付、本学会定款第 22 条を一部改正いたしました。

(現行)

第 5 章 役員

(役員役割)

第 22 条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 13 名以上 25 名以内

(2) 監事 1 名以上 2 名以内

2. 理事のうち 1 名を理事長とする。

3. 理事長を除く理事のうち 1 名以上 2 名以内を副理事長とする。

4. 第 2 項の理事長をもって法人法上の代表理事とし、前項の副理事長をもって同法第 9 1 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。



(改正後)

第 5 章 役員

(役員役割)

第 22 条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 **14 名以上 27 名以内とし、うち 1 名は本法人会員外の有識者とする。**

(2) 監事 **2 名以上 3 名以内とし、うち 1 名は本法人会員外の有識者とする。**

2. 理事のうち 1 名を理事長とする。

3. 理事長を除く理事のうち 1 名以上 2 名以内を副理事長とする。

4. 第 2 項の理事長をもって法人法上の代表理事とし、前項の副理事長をもって同法第 9 1 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。

7. 次期役員報告

次期（令和 8 年定時社員総会の時から令和 10 年定時社員総会の時まで）役員

理事長 野本 たかと
副理事長 田村 文誉、小松 知子

選出理事（13 名）

岩瀬(齊藤)陽子、江草 正彦、大岡 貴史、小笠原 正、岡田 芳幸、加藤 篤、小松 知子、
田村 文誉、野本 たかと、弘中 祥司、松尾 浩一郎、松岡 陽子、村上 旬平

理事会推薦理事（12 名）

秋山 茂久、稲田 穰、上田 公子、大西 智之、梶 美奈子、河瀬 聡一郎
高橋 温、名和 弘幸、船津 敬弘、前田 茂、森田 浩光、八若 保孝

外部理事 安達 哲夫（安達事務所 公認会計士）

外部監事 鈴木 英明（千葉県庁 歯科医師）

監事* 島村 和宏、白川 哲夫

*定款第 26 条第 2 項により監事の任期は令和 6（2024）年定時社員総会の時から令和 10（2028）年定時社員総会の時まで（2023 年度第 2 回社員総会にて承認済）

8. 第41回日本障害者歯科学会総会および学術大会報告

第41回日本障害者歯科学会総会および学術大会 開催報告書

1. 会議の名称 第41回日本障害者歯科学会総会および学術大会
2. 主 管 (一社) 沖縄県歯科医師会
3. 大会長 米須 敦子 (沖縄県歯科医師会 会長)
4. 実行委員長 屋嘉 智彦 (沖縄県歯科医師会 専務理事)
5. 副実行委員長 眞喜屋 睦子 (沖縄県歯科医師会 常務理事)
6. 会 期 2024年12月13日(金)～15日(日)
7. 会 場 沖縄コンベンションセンター
8. 大会ホームページ: <https://jsdh41.jp>
9. 大会開催の概要
 - 1) 参加者数 2,309名
 - (1) 有料参加者数 2,018名

内訳	歯科医師会・医師	1,422名、	歯科衛生士・その他	596名
----	----------	---------	-----------	------
 - (2) 一般市民参加者 80名
 - (3) その他参加者 211名 (無料学生、名誉会員、ボランティアスタッフ等)
10. 大会内容
 - 1) 一般演題 口演50演題、ポスター332演題
 - 2) 特別講演

泉川 良範先生 (社会福祉法人五和会名護療育医療センター名誉院長)
「わたしの地域活動として大切にしてきたこと」
 - 3) 大会長講演

米須 敦子先生 (沖縄県歯科医師会 会長)
「当県口腔保健医療センターの歩みー障害者歯科医療の現状と未来ー」
 - 4) 県民公開講座

武田 真一 (フリーアナウンサー)
「障害者歯科を知ろう」

森山 泉和 (漫画家)
「発達障がいがあっても大丈夫 ～ニコニコ笑顔になる関わりのコツ～」
 - 5) 教育講演2題

小笠原 正先生 (よこすな歯科クリニック/松本歯科大学臨床教授)
「神経発達症における行動調整」

石井 里加子先生 (オーラルヘルスサポート歯科すみだ)
「障害者歯科を通して見えてきたこと、そして新たな挑戦へ」
 - 6) シンポジウム3題

シンポジウムⅠ 地域で医療的ケア児をどう支えるか

當間 隆也先生 (Kukuru きっずクリニック)
「沖縄県の地域における医療的ケア児の現状」

田村 文誉先生 (日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科)
「在宅で療養しているこどもの口腔の健康を地域で支える」

古市 実和先生 (沖縄県生活福祉部 障害福祉課 地域生活支援班)
「地域で医療的ケア児をどう支えるか～ライフステージに対応した切れ目のない
きめ細かな支援体制の構築に向けて～」

加藤 節子先生 (一般社団法人にぬふぁ星)
「医療的ケア児に対する食の倫理」

シンポジウムⅡ 難病を考える

- 山本 博之先生 (厚生労働省健康・生活衛生局 難病対策課)
「難病対策について」
- 櫻井 剛史先生 (医療法人社団 千櫻会 さくらい歯科医院)
「宿題委託研究から見えてきた難病患者の歯科的課題」
- 宮城 雅也先生 (沖縄中部療育センター (沖縄小児保健協会 会長))
「障害児者の生きて生きる生活を支える歯科医療・障害児者医療」
- 照喜名 通先生 (認定NPO法人アンビシャス)
「(認定NPO法人アンビシャスに委託) からみた難病患者への歯科医療の必要性和問題点について」

シンポジウムⅢ 「「チャンプルー文化」の地域包括ケアシステム」

- 小坂 健先生 (東北大学大学院歯学研究科地域共生社会歯学講座 国際歯科保健学分野教授)
「地域共生社会と社会的処方」の展開」
- 糸数 公先生 (沖縄県保健医療介護部 部長)
「コロナパンデミックの経験を踏まえて地域包括ケアシステムを構築する」
- 河瀬 聡一郎先生 (石巻市雄勝歯科診療所 所長)
「大規模災害と障がい児・者」
- 稲田 穰先生 (社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センター歯科診療科 科長)
「「高齢化する障害者」の視点から地域包括ケアシステムを考える」

7) 教育講座 4題

- 平塚 正雄先生 (医療法人社団秀和会 小倉北歯科医院・小倉南歯科医院)
「回復期の病院における障害者歯科診療に関わる様々活動について一復期リハビリテーション病棟におけるアプローチ」
- 後藤 隆志先生 (朝日大学歯学部口腔病態医療学講座 歯科麻酔学分野)
「障害を有する患者の静脈内鎮静法や日帰り全身麻酔法で知っておきたいこと」
- 吉川 浩郎先生 (吉川歯科クリニック)
「地域における障害者歯科診療～小規模県における取り組み～」
- 梶 美奈子先生 (北海道医療大学病院 歯科衛生部)
「歯磨き自体の受け入れが悪い障害児・者へのう蝕予防」

8) 専門医委員会シンポジウム 「総合歯科専門医を知る」

- 水口 俊介先生 (一般社団法人日本老年歯科医学会前理事長/東京医科歯科大学 名誉教授)
「一老年歯科における対応と役割一」
- 石垣 佳希先生 (一般社団法人日本有病者歯科医療学会 副理事長)
「一有病者歯科における対応と役割一」
- 小笠原 正先生 (公益社団法人日本障害者歯科学会 専門医委員会委員長)
「～障害者歯科の立場から～」
- 今井 裕先生 ((一社)日本歯科専門医機構 理事長/獨協医科大学 名誉教授)
「(一社)日本歯科専門医機構とは何か?—新たなる歯科専門医の制度設計に挑む—」

9) 上原進先生追悼シンポジウム

- 「上原進先生 追悼シンポジウム～障害者歯科学会の発足がもたらした功績～」
- 池田 正一先生 (神奈川歯科大学 客員教授)
- 緒方 克也先生 (社会福祉法人JOY明日への息吹 理事長)
- 弘中 祥司先生 (昭和大学歯学部 口腔衛生学講座 教授)
- 江草 正彦先生 (岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター センター長・教授)
- 野本 たかと先生 (日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座 教授)

10) 委員会企画 5 企画

医療保険委員会

加藤 篤先生（愛知県医療療育総合センター中央病院 歯科部）
高井 理人先生（医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ）
「障害者歯科における保険点数算定の基礎知識」（医療経済セミナー）

医療福祉連携

村上 旬平先生（大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部）
清水 厚紀先生（天竜厚生会赤石寮）
「強度行動障害の理解と支援」

診療ガイドライン作成

尾田 友紀先生（広島口腔保健センター）
熊谷 美保先生（岩手医科大学歯学部口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野）
「障害者歯科診療における行動調整ガイドライン 2024 および発達期における障害児者の摂食機能療法の手引きの活用について」

地域医療

「今、岐路に立つ地域の障害者歯科医療 Part3 一地域の連携歯科医療の現状と課題、そして未来—
（患者・医療者関係の構築セミナー）
眞喜屋 睦子先生（オアシス歯科医院）
「一般開業医の立場から—当歯科医院における障害者歯科地域連携の現状—」
澤田 茂樹先生（沖縄県立北部病院 歯科口腔外科）
「障がい者歯科治療の受け皿としての当院の取り組み」
西村 賢二先生（（前）佐賀県健康福祉政策課）
「行政が考える地域における障害者歯科の連携医療について」

医療安全

西山 暁先生（東京医科歯科大学総合診療歯科学分野/東京医科歯科大学病院医療安全管理部）
「良い医療者とは—医療安全というマナーを見に着ける—」

11) 企業セミナー 6 社

「ヒトと共生する微生物—口腔内細菌と腸内細菌叢との関わりについて—」
「障害者小児歯科における全身アプローチ併用の有用性」
「震災ストレスと長期断水がもたらした口腔の変化～能登半島地震の震災者として歯科医師として」
「世界の歯科トレンド：バイオアクティブ材料を応用した障がい者歯科医療への新しい提案」
「サイコバイオティクス～歯科から始める医療革命～」
「障害者歯科診療や予防における基本である歯科用ユニット細菌汚染とその対策並びに障害者（児）の口腔ケアと治療の実際（福岡県八代市を含めて）」

12) 協賛企業（展示・広告） 4 5 社

13) 懇親会 参加者 2 4 7 名

第41回日本障害者歯科学会 決算報告書

【収入の部】

項目	決算額	備 考
参加登録	16,380,000	14,000 円 × 1,170 名
事前登録	4,887,000	9,000 円 × 543 名
当日登録	3,248,000	16,000 円 × 203 名
当日登録	686,000	14,000 円 × 49 名
当日登録	506,000	11,000 円 × 46 名
当日登録	63,000	9,000 円 × 7 名
当日登録	0	0 円 × 6 名
当日登録	6,000	2,000 円 × 3 名
託児所収入	87,000	3,000 円 × 29 名
	4,500	1,500 円 × 3 名
展示料	44,000	11,000 円 × 4 コマ
広告掲載料	790,000	
	30,000	
協賛金	1,980,000	55,000 円 × 36 社
	2,000,000	
	190,000	
補助金	2,000,000	
	528,270	
	1,000,000	
雑収入	62	利息
学術大会収入小計	34,429,832	
懇親会	1,281,000	7,000 円 × 183 名
	196,000	7,000 円 × 28 名
懇親会収入小計	1,477,000	
合計	35,906,832	

【支出の部】

項目	決算額	備 考
業務委託料	19,922,105	映像・音響・照明機材・レンタル品・運営サポート 飲食・託児サービス・懇親会費 他 ※別添明細書あり
会場借用費	4,129,636	沖縄コンベンションセンター
旅費関係	885,864	役員・職員旅費等
保険関係	20,493	旅行保険・損害保険
講師謝金関係	789,175	講師謝金等 ※非課税
講師旅費関係	347,464	講師旅費・宿泊費・交通費
人件費	4,619,404	実行委員、職員 ※非課税
飲食関係費	209,182	講師・スタッフの弁当、飲料 ※消費税8%計上
消耗品費	97,305	レインコート・レーザーポインター・証書ホルダー・電池・封筒 他
印刷物・制作・会員通知関係	474,891	フライヤー・ラベル・会員通知・印刷代金など
郵便関係	50,038	切手・ハガキ・レターパックなど ※非課税
雑役費	49,150	印鑑作成・振込手数料・残高証明・駐車場代 他
運搬費	181,818	バス借上料
会議費	457,000	委員会会場使用料
沖縄県歯科医師会繰入金返金	1,000,000	※非課税
学術大会支出小計	33,233,525	
[上 記 小 計]	33,233,525	
[消 費 税] 8%計上	16,735	
[消 費 税] 10%計上	2,656,573	
[合 計]	35,906,832	

9. 第 43 回日本障害者歯科学会総会および学術大会準備状況報告

会 期：2026 年 12 月 11 日（金）～13 日（日）

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号 TEL.025-246-8400

<https://www.tokimesse.com/>

大会長：大橋 誠（北信越障害者歯科臨床研究会/日本歯科大学新潟生命歯学部）

テーマ：バリアフリーからユニバーサルデザインへ

運営事務局 （一財）口腔保健協会コンベンション事業部

10. 第 44 回日本障害者歯科学会総会および学術大会準備状況報告

会 期：2027 年 11 月 19 日（金）～21 日（日）

会 場：あきた芸術劇場ミルハス、秋田市文化創造館

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明德町 2-52 TEL.018-838-5822

<https://akiat.jp/>

大会長：田村 文誉（日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科）

準備委員長：山田 裕之（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

実行委員長：町田 麗子（日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科）

11. 2028 年度（第 45 回）学会総会および学術大会開催地報告

12. 専門医制度規則第 10 条および第 15 条に基づく専門医動静報告

専門医指導医 53 名、専門医 201 名、専門医研修施設 65 施設

令和 6 (2024) 年度学術大会以降の動静

新規専門医指導医 7 名、新規専門医 9 名、専門医研修施設 4 施設

専門医指導医資格喪失 1 名 (学会退会)

13. 認定医制度規則第 6 条および第 10 条に基づく認定医動静報告

名誉認定医・名誉指導医 7 名、認定医指導医 216 名、認定医 1,457 名

認定医臨床経験施設 282 施設

令和 6 (2024) 年度学術大会以降の動静

新規認定医指導医 7 名、新規認定医 59 名、

新規認定医臨床経験施設 4 施設

名誉指導医・名誉認定医・指導医・認定医資格喪失 22 名 (喪失の理由は、ご逝去、学会退会、未更新)

認定医臨床経験施設失効 5 施設 (未更新)

14. 認定歯科衛生士審査制度に関わる動静報告

指導歯科衛生士 88 名、認定歯科衛生士 (障害者歯科) 457 名

臨床経験施設 32 施設

令和 6 (2024) 年度学術大会以降の動静

新規指導歯科衛生士 6 名

新規認定歯科衛生士 (障害者歯科) 38 名 *公益社団法人日本歯科衛生士会に合格の報告をする歯科衛生士数

新規臨床経験施設 3 施設

指導歯科衛生士および認定歯科衛生士資格喪失 31 名 (喪失の理由は、ご逝去、学会退会、未更新)

※2025 年度新規合格者・施設は、第 42 回大会会場に掲示します。